

平成28年度 全国学力・学習状況調査

新ひだか町立学校の調査結果

はじめに

平成28年度「全国学力・学習状況調査（平成28年4月19日実施）」が、全国の小学6年生と中学3年生を対象に行われ、結果が公表されました。

学力調査は、国語及び算数・数学の主に知識に関する「A問題」と、主に活用に関する「B問題」で行われ、併せて生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査も実施されています。

この調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を改善することが目的で、平成19年度から実施されています。

ここでは、新ひだか町立学校の調査結果及び分析結果の特徴的な部分と、町全体としての学力向上策について町民の皆様にお知らせします。

さらなる授業改善と家庭学習が課題

調査結果から、平均正答率では、小学校国語Aと中学校国語Bにおいて、全国や全道と比較して差が縮まりましたが、ほかの教科では依然として低迷しています。学習状況調査から、小学校・中学校ともに家庭学習の時間が短く、テレビの視聴時間やスマートフォン・インターネットを利用する時間が長い児童生徒の割合が多い状況が続いています。

このため、「新ひだか町の学力向上策」を各学校で一層強化するとともに、家庭生活習慣の改善を図ることが必要であると考えています。

特に学校においては、1時間1時間の授業で「この授業で何が分かったか、何ができようになったか」を児童生徒が理解し、まとめ、そのことがはつきりと自覚できるよう

にすること。また、教師が一方的に説明するような授業ではなく、子どもが自分で考え、課題を解決し、物事を理解するとともに、その課題解決の過程を通して、考える力や判断する力、表現する力等を高められるよう授業改善を進める必要があります。

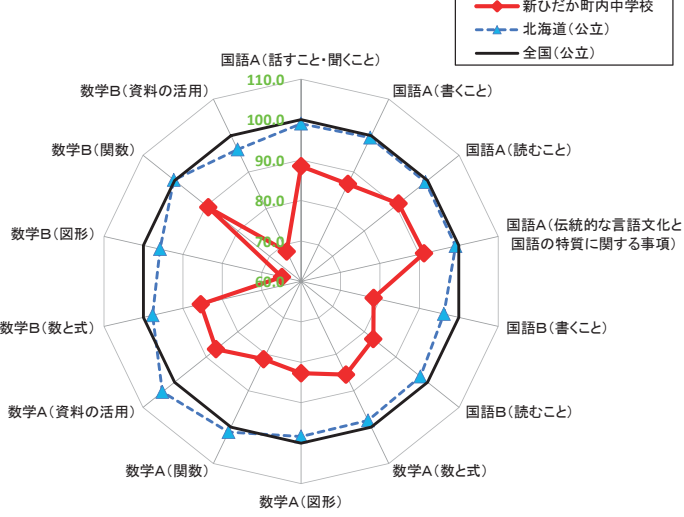
新ひだか町の学力向上策

- 全国学力・学習状況調査の分析を受け、各学校の学校改善プランに基づいた主な取組を保護者や地域住民の皆様へ情報提供するとともに連携を深め、地域一丸となった取組を進めます。
◎全国学力・学習状況調査結果を踏まえた家庭学習習慣の定着
◎主体的・対話的な学びを実現するための問題解決的な学習過程を位置付けた授業改善
◎1時間の授業の課題やねらいの明確化と定着のための「まとめ」の徹底
◎全国学力・学習状況調査結果及び標準学力テスト（CRT）の分析による小中の連携ときめ細かな指導の徹底
◎次期学習指導要領を見据えた教育課程の編成と実施

新ひだか町内中学校の状況（学校数：3校、第3学年生徒数：194人）

【教科全体の状況】

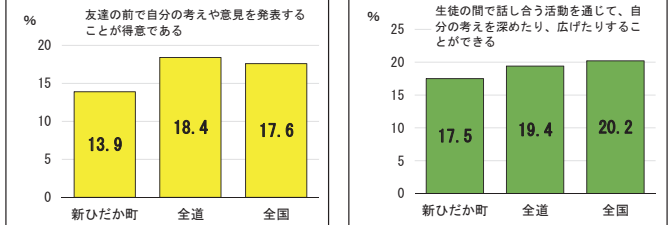
- 各教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び新ひだか町の状況をレーダーチャートで示したもの（新ひだか町の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）
■国語・数学の知識に関する「A問題」と活用に関する「B問題」で実施



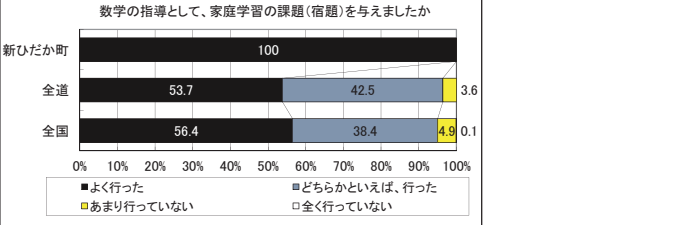
【分析】

Table with 3 columns: 教科 (Subject), 生徒質問紙 (Student Questionnaire), 学校質問紙 (School Questionnaire). It details findings on student engagement in class and at home, and school-level responses to the survey.

【生徒質問紙調査】



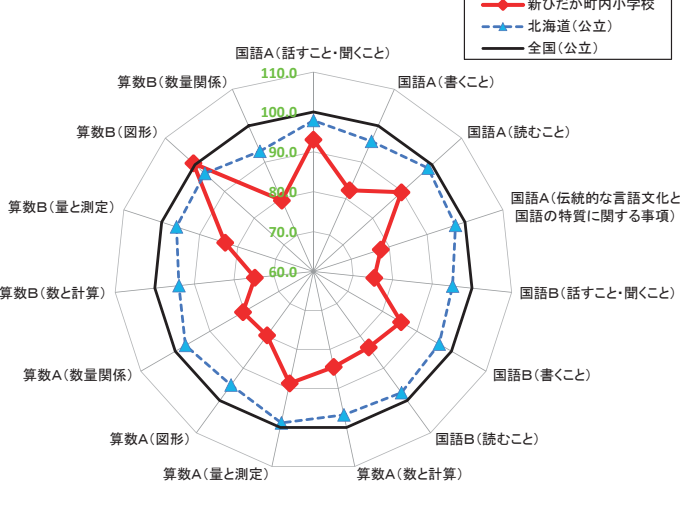
【学校質問紙調査】



新ひだか町内小学校の状況（学校数：6校、第6学年児童数：167人）※後日実施校を含む

【教科全体の状況】

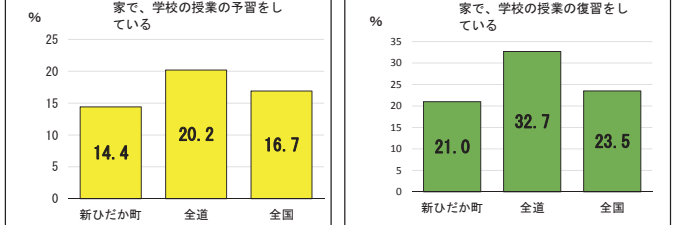
- 各教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び新ひだか町の状況をレーダーチャートで示したもの（新ひだか町の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）
■国語・算数の知識に関する「A問題」と活用に関する「B問題」で実施



【分析】

Table with 3 columns: 教科 (Subject), 児童質問紙 (Child Questionnaire), 学校質問紙 (School Questionnaire). It details findings on student engagement in class and at home, and school-level responses to the survey.

【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】

